

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	草加市子育て支援センター児童デイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	8年 2月 2日		8年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	141	(回答者数) 132
○従業者評価実施期間	8年 1月 27日		年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに関することについて、相談から医療、サービス利用まで、一貫して提供できる公共機関である。	専門的な視点での支援の充実を図る。子どもの特性や発達段階を十分に理解し、多職種間で包括的支援を行っている。	相談、個別療育、集団療育を総合的に実施できるよう、さらに連携を図る。
2	小集団で療育を行い、発達段階に応じた集団の中での経験を大切にしている。	子どもの特性や発達段階を理解し、小さな成長や変化を職員間で共有しながら「できた」という成功体験を積み重ねていけるよう支援している。	子どもの成長に応じた集団支援の質をさらに高め、子どもたちが楽しく通えるように、内容の充実に取り組む。
3	保護者同伴での参加を設定し、情報共有や相談助言を行い保護者支援を大切にしている。	乳児グループでは保護者一緒の活動で、親子関係構築のサポート、日々の子育ての悩みを聞き取り助言を行っている。また、幼児グループでは療育後にフィードバックを行いお子さんの姿を共有している。ご家庭での様子も伺いながら、保護者と共通認識を持ち、一貫した支援に繋げている。必要に応じて相談助言を行っている。	保護者との面談の時間を定期的を設定し、情報共有や相談助言の機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ない。	参加が保護者同伴であり、活動を通して子どもの様子を共有しながら、保護者支援も行っている。限られた療育時間内で交流の機会を設定することが難しい状況があります。	一般市民向けの講座等を企画して、利用者も含めて交流できる場となるように活動を広げていく。
2			
3			